

平成31年度 年間授業計画

- 1 学年・科目・単位数
第1学年 工業技術基礎 3単位
- 2 担当教員
- 3 教科・科目のねらい
工業（建築）に関する基礎的な技術を実験や実習によって体験し、各分野における工業技術への興味・関心を高め、工業の意義や役割を理解し、広い視野と倫理観を養い、工業の発展をはかる意欲的な態度を身につける。
- 4 年間授業計画 ※ 1班を例示

学期	単元（授業内容／時間）	重点項目	評価の観点
1	木工Ⅰ（9時間）	「工業技術基礎」の学習を通して、工業の各分野に共通に必要な基礎的な知識、技術、態度を実験・実習を通して修得する意義を理解させる。 基礎的な工具の選定や扱いかたについて習得させ、作業を正しく能率よく進められるようにする。 各種材料について、その特質を理解させ、適切な材料の選定やその加工法を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・「工業技術基礎」の学習の目的は、実験・実習を通して工業技術について幅広い基礎的な知識と技術を身につけさせる。 ・レポートを提出させ、学習成果を評価する。 ・観点別評価を活用する。作業の安全性の理解 木工道具の適切な扱い方の理解
	測量Ⅰ（9時間）		
2	造形Ⅰ（9時間）		
	木工Ⅱ（27時間）	木工製作	ベンチの製作を通して、基礎的な加工に関する知識を身につけ、木材の加工技術やベンチの機能とその役割を理解させる。
	測量Ⅱ（27時間）	水準測量	建築や建設にかかわる知識を身につけさせ、測量についての技能・態度を身につけさせる。
3		角測量	
	造形Ⅱ（24時間）	住宅模型製作	デザインやインテリア系の知識を身につけさせるとともに、住宅設計に関する基礎的な技術を習得させる。

- 5 使用教科書・副教材他
工業技術基礎（実教出版）、建築設計製図（実教出版）、新版 建築実習1・2
- 6 評価方法・観点

安全作業に関する理解、協調性、出席状況、実習作業への取り組み、レポートおよび作品他

※なお、上記は予定であり、行事等により一部変更になることがある。